

(別紙4(2))

事業所名グループホーム輪楽笑Ⅱ

## 目標達成計画

作成日:令和 元 年 10 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災及び地震を想定した避難訓練の実施と「非常災害対策計画」(マニュアル)改訂	施設内に居る時、火災や地震に対し利用者を速やかに安全な場所へ避難させること。	日頃の火災通報訓練と、地震を想定し、一時的に利用者を机の下に避難させ、その後屋外の安全な場所へ移動する。これまでのマニュアルの見直しと「風水害編」を加えて改訂する。	実施済み及び1年間一部作成(改訂)中
2	13	職員の各種研修の実施	福祉施設の職員としての資質向上と、利用者家族から信頼される職員、施設となるよう努める事。	毎月全体会議で、マニュアルの確認など介護等に対する問題をはじめ、防災関係、熱中症、食中毒など健康に関する事も話し合い、知識ある職員の助言を受け、問題の改善に繋げる。	12ヶ月
3	4	運営推進会議で指導された内容を生かした取り組みの実施	年6回開催される会議で助言、指導された内容を施設運営に生かす。	地域包括支援センター、民生委員、地域の代表者、地区社協の代表者家族の方々とホームの現状や問題点を話し合い情報交換も行なっている。最近では地域包括支援センターから参考になるアドバイスも多い。	6ヶ月(年6回開催)
4	2	地域との関わりを増やし絆を深める	職員、利用者が周辺の方々と顔を見て挨拶することが増えており親しみも持ってもらっており、更に周辺との絆を深めたい。(近所の方から旅行されたときの「お土産」を頂くこともある)	町内福祉協議会の主催の「元気の出る会」は欠かさことなく毎月出席。他の方々と一緒になって楽しんでもらい親しまれている。年2回の町内のクリーン作戦(清掃)にも進んで職員と利用者が参加する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。